

後期高齢者医療制度のお知らせ

～窓口負担割合の見直しに伴う、保険証（被保険者証）の一斉更新について～

■保険証が新しくなります（黄色 → 橙色）

現在、ご使用の「黄色」の保険証の有効期限が令和4年9月30日をもって満了となるため、10月以降は使用できなくなります。

9月中旬に新しい保険証を交付しますので、お手元に届きましたら「**橙色**」の保険証をご使用ください。

10月以降の窓口負担割合が引き続き1割または3割の方も保険証が新しくなります。

新しい保険証は
だいたい
「**橙色**」です！



○新しい保険証の有効期限は、**令和5年7月31日**です。

○紛失したときや汚れたときは再交付しますので、住民課戸籍保険グループまでお申し出ください。

※ **減額認定証**（限度額適用・標準負担額減額認定証）、**限度証**（限度額適用認定証）は有効期限が令和5年7月31日までのため**再交付しません**。

■一定以上の所得のある後期高齢者医療の被保険者の医療費の窓口負担割合が変わります

令和4年10月1日から、一定の所得のある方は、現役並み所得者（窓口負担割合3割）を除き、医療費の窓口負担割合が2割になります。窓口負担割合の変更対象となる方は、後期高齢者医療の被保険者全体のうち約20%です。

■窓口負担割合が2割になる方は、次の項目に「すべて」該当する方です

- 住民税課税世帯で、3割負担（現役並み所得者）ではない
- 同一世帯に住民税の課税所得が28万円以上の被保険者がいる
- 年金収入＋その他の合計所得金額が
 - ・被保険者が1人の世帯…200万円以上
 - ・被保険者が2人以上の世帯…合計320万円以上

■見直しの背景

令和4年度以降、団塊の世代が75歳以上となり始め医療費の増大が見込まれています。

後期高齢者の医療費のうち、窓口負担を除いて約4割は現役世代（子や孫などの世代）の負担（支援金）となっており、今後も拡大していく見通しです。

今回の窓口負担割合の見直しは、現役世代の負担を抑え、国民皆保険を未来につないでいくためのものです。



■問い合わせ先

北海道後期高齢者医療広域連合 ☎011-290-5601 もしくは 住民課 戸籍保険グループ